

いばらき会看護部 看護研究発表会

平成24年9月6日（木）19時より、いばらき会看護部による、看護研究発表会が実施されました。

いばらき会には4か所の訪問看護ステーションがあり、各ステーションの担当者が看護研究の成果を発表するというもので、毎年1回行われています。東海からも浅野静子看護師と鈴木薫看護師が看護研究の成果を発表しました。各ステーションの担当者名と演題は次の通りとなっています。（※発表者）

「災害時の訪問看護ステーションの役割」

訪問看護ステーションとうかい 浅野静子看護師・※鈴木薫看護師、

「在宅での服薬の現状と課題」

いばらき診療所訪問看護ステーション（ひたちなか市）

「自助力の向上と安心できる環境づくり」

日立南部地区訪問看護ステーション ※高玉久美子看護師・川崎久枝看護師、

「疼痛コントロールしながら本人の希望する看護を目指して」

訪問看護ステーションこづる（茨城町） ※粕田寛子看護師



とうかい



たかば



ひたち



こづる

4名の各地区発表担当者がスライドを使用して発表し、意見交換をしました。

参加者は各ステーションの看護師、リハビリスタッフを中心にケアマネジャー・事務系スタッフなど約60名の参加数となりました。

看護師さんたちの看護に対する熱意と、利用者様やご家族への思いが伝わってくる内容でした。

みなさんお疲れ様でした。

